

2026年 3月期 決算説明会

本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しでありこれらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。
従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

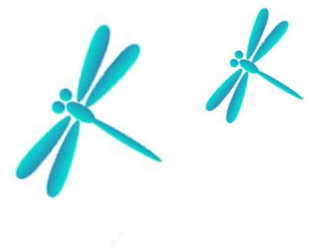
2026年 5月 13日



ニチアス株式会社


< 1 >

2026年 3月期
決算概要



◇ 26/3期 決算の要点

(単位：億円)

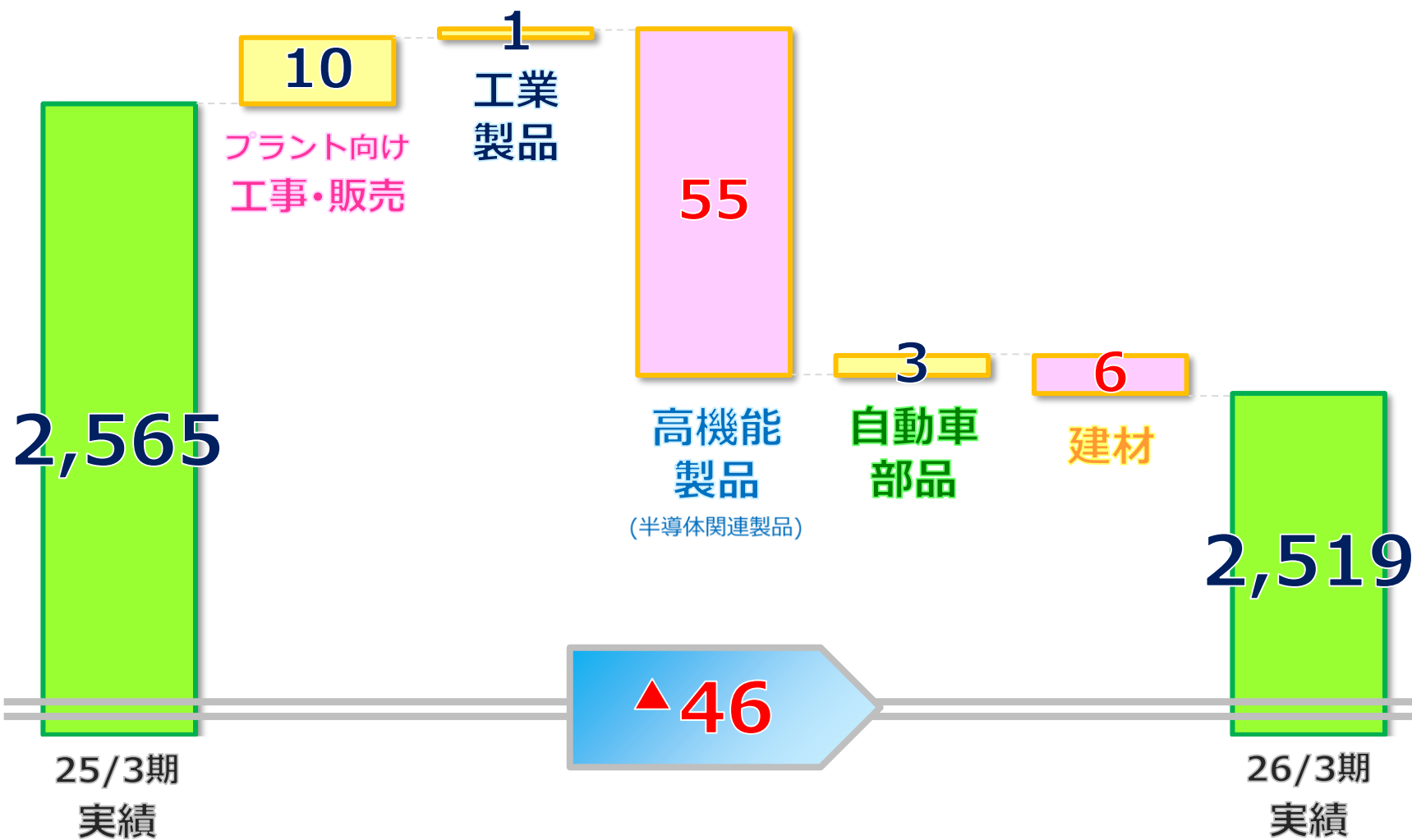
	25/3期	26/3期		増減率	
	実績	2/9 予想	実績	前期比	予想比
売上高	2,565	2,540	2,519	▲ 1.8%	▲ 0.8%
営業利益	397 15.5%	365 14.4%	370 14.7%	▲ 6.8%	1.4%
経常利益	417 16.3%	365 14.4%	394 15.6%	▲ 5.6%	7.9%
特別利益	52	—	3	▲ 94.1%	—
特別損失	15	—	10	▲ 37.0%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	321 12.5%	258 10.2%	316 12.6%	▲ 1.4%	22.6%

不透明感，不確実性が増す中
自動車部品と建材の収益改善が進展

概ね堅調な着地

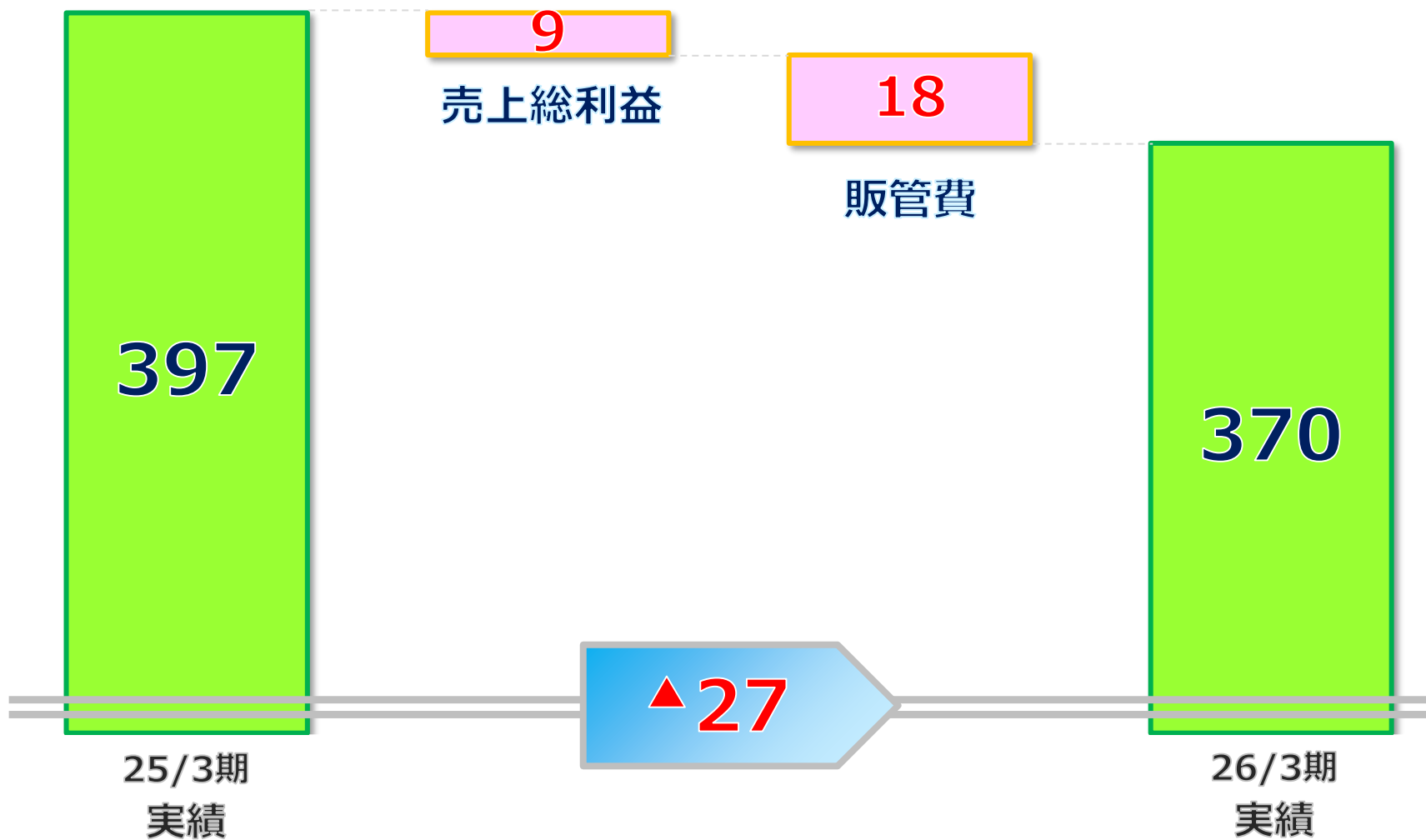
◇ 26/3期 売上高 増減要因

単位：億円



◇ 26/3期 営業利益 増減要因

単位：億円



為替差益もあるなか、純利益の増加は法人税等の減少影響大

法人税の法定実効税率は30.6%程度のところ、
26/3期においては、子会社関連の以下事案により税負担が軽減

国内	君津RW (に対する) 債権放棄確定に伴う 法人税の減少	第3四半期	27 億円
海外	NRI / インドネシア 繰延税金資産計上	第4四半期	8 億円
【法人税等の減少】			計 35 億円

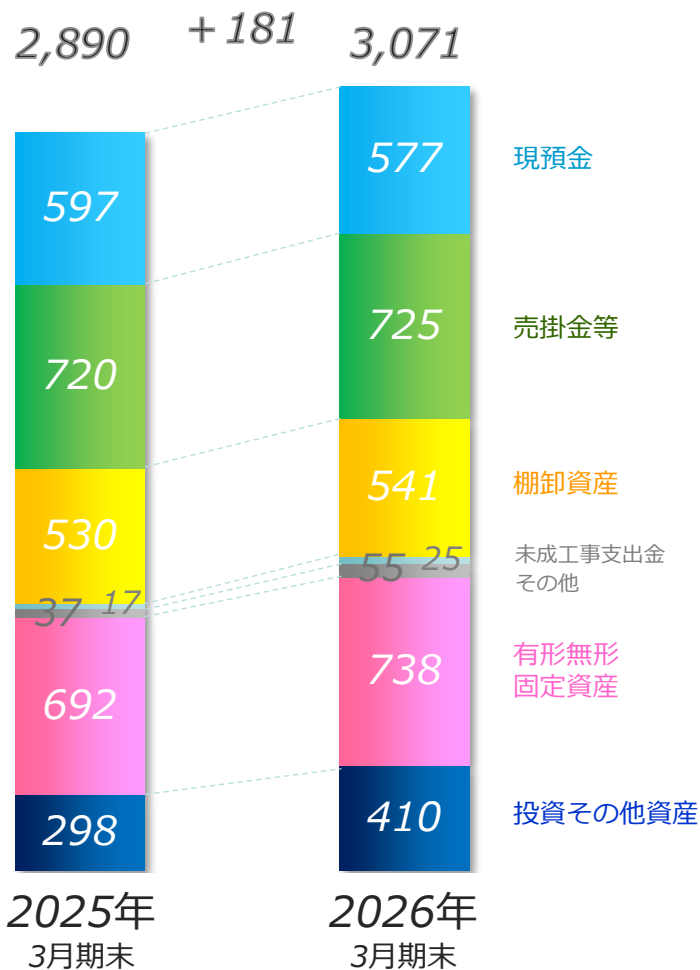
▶ 26/3期の実効税率は18.0%

◇ 26/3期 セグメント別業績

(単位：億円)

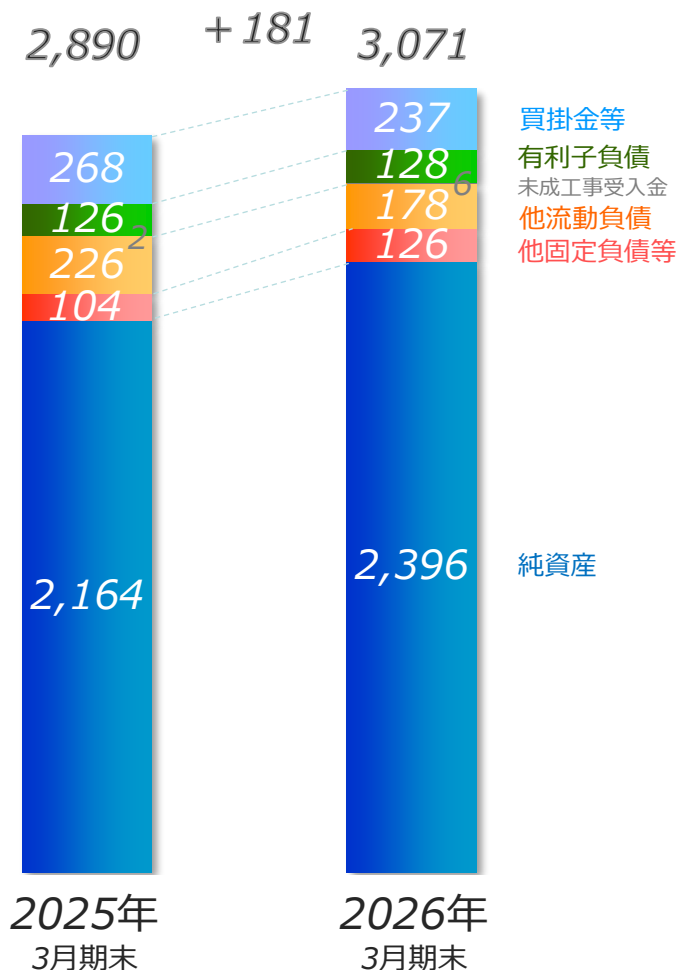
セグメント		25/3期	26/3期		増減率	
		実績	2/9予想	実績	前期比	予想比
プラント向け 工事・販売	売上高	785	790	795	1.3%	0.6%
	営業利益	125 15.9%	115 14.6%	120 15.1%	▲4.2%	4.2%
工業製品	売上高	532	550	533	0.3%	▲3.1%
	営業利益	111 20.8%	110 20.0%	101 19.0%	▲8.5%	▲8.0%
高機能製品 (半導体関連製品)	売上高	446	395	391	▲12.3%	▲1.0%
	営業利益	102 22.9%	75 19.0%	69 17.7%	▲32.5%	▲7.9%
自動車部品	売上高	512	510	515	0.6%	1.0%
	営業利益	45 8.9%	45 8.8%	53 10.3%	17.0%	18.1%
建材	売上高	291	295	285	▲2.1%	▲3.4%
	営業利益	14 4.8%	20 6.8%	27 9.5%	91.8%	34.7%
計	売上高	2,565	2,540	2,519	▲1.8%	▲0.8%
	営業利益	397 15.5%	365 14.4%	370 14.7%	▲6.8%	1.4%

資産残高



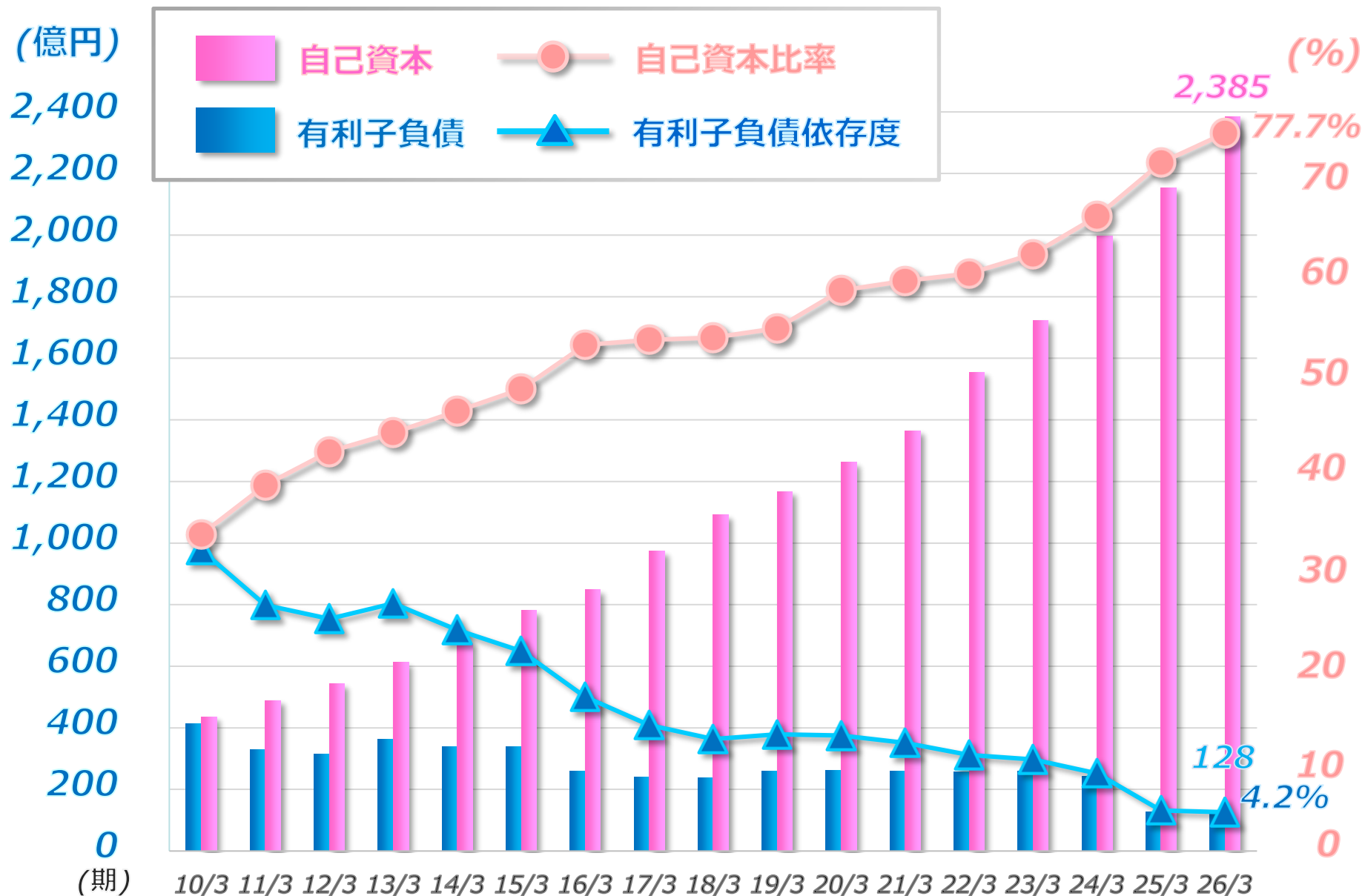
負債・純資産残高

(単位：億円)



自己資本比率 74.5% ▶ 77.7%

◇ 有利子負債と自己資本の推移

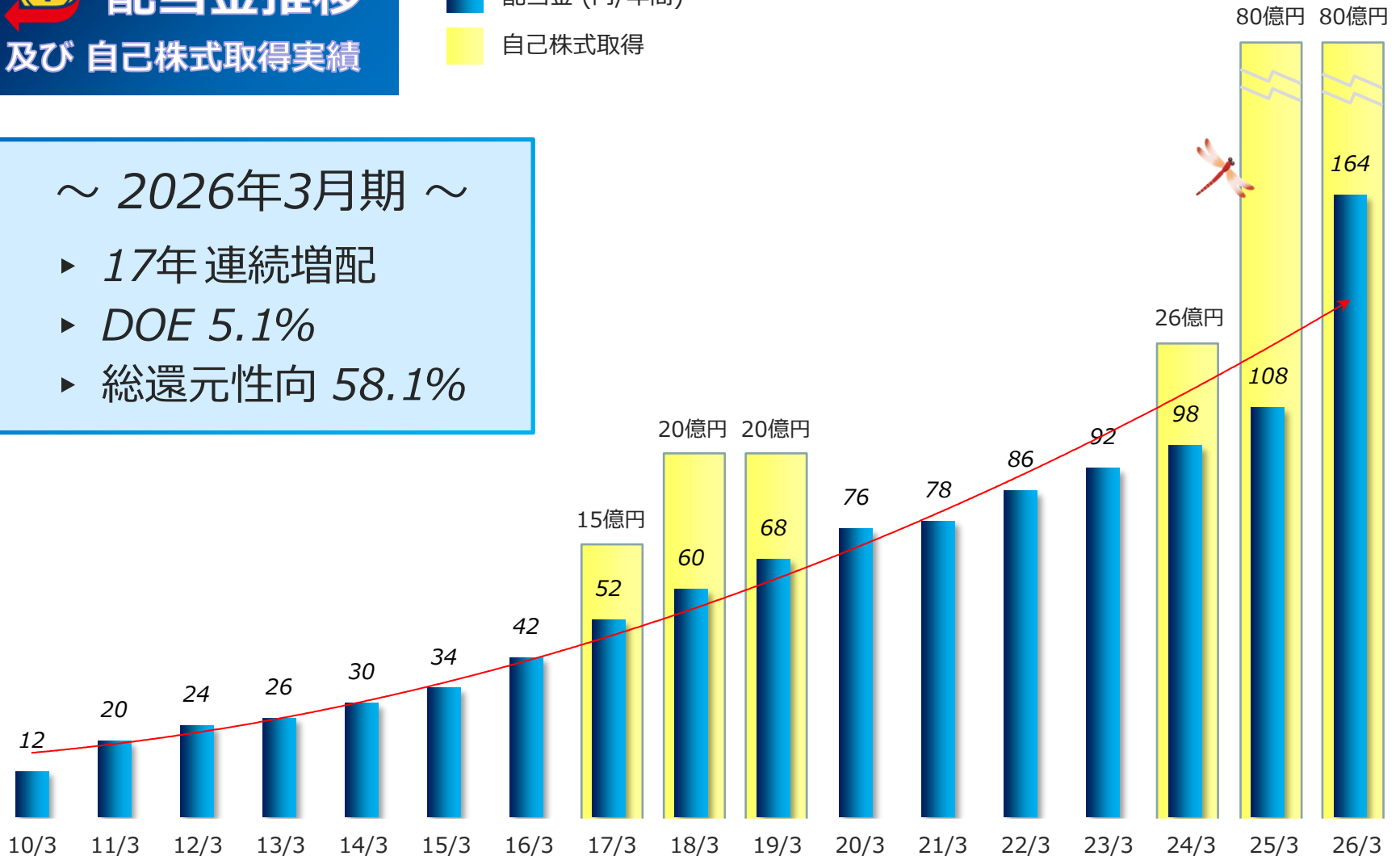


配当金推移 及び 自己株式取得実績

■ 配当金 (円/年間)
■ 自己株式取得

～ 2026年3月期 ～

- ▶ 17年連続増配
- ▶ *DOE* 5.1%
- ▶ 総還元性向 58.1%



株式分割

普通1株につき 3株の割合で分割

効力発生日は2026年4月1日

… 2026年3月期の期末配当金は、分割前の株式数を基準で実施

自己株式の消却

発行済株式総数の1%を残し消却

(分割前) 消却株式数 4,150千株

AA

A⁺

A

A⁻

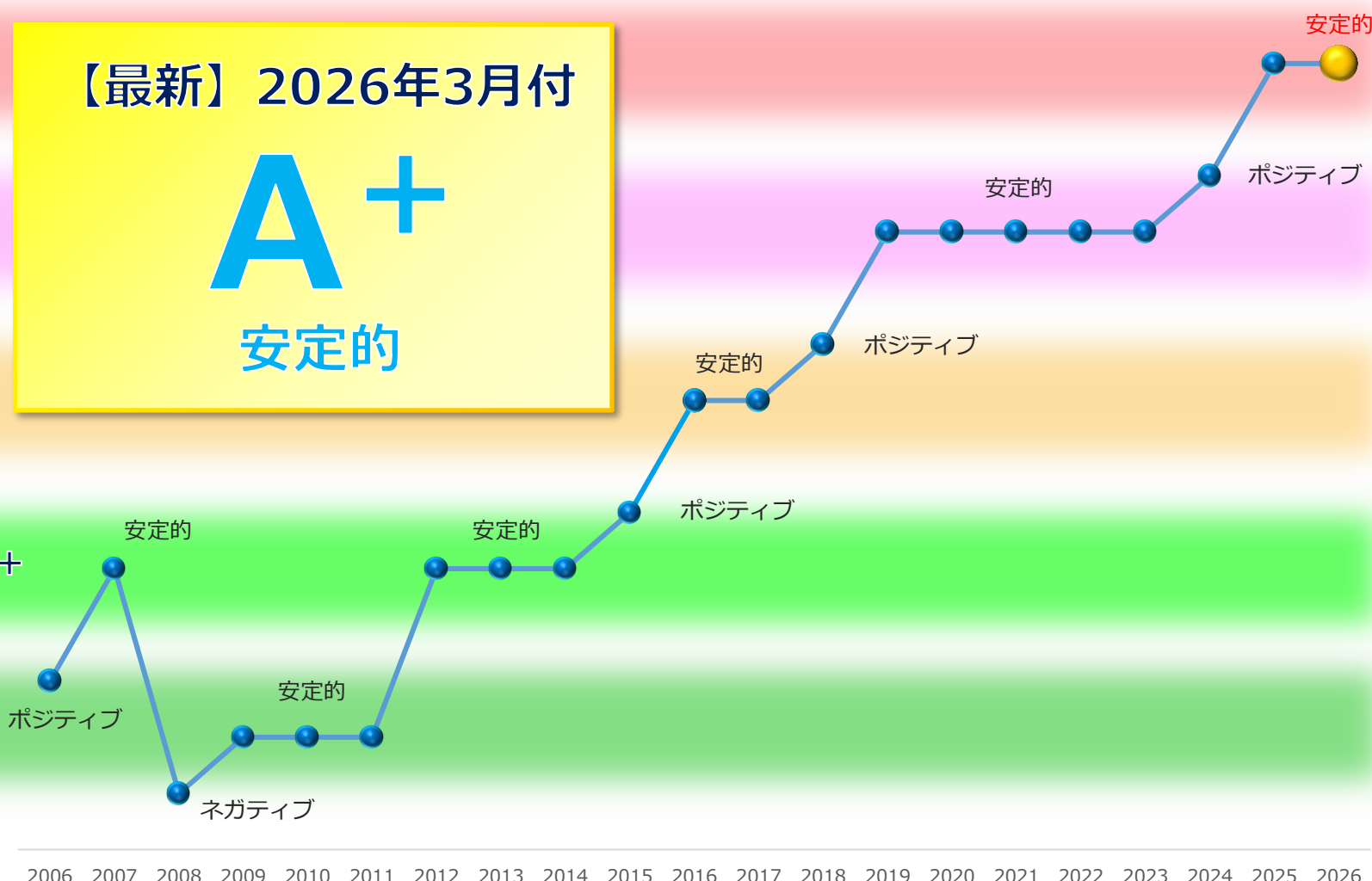
BBB⁺

BBB

【最新】2026年3月付

A⁺

安定的



AAA

AA

A

BBB

BB

B



【最新】 2026年4月付

A



MSCI
日本株
女性活躍
セレクト

MSCI
日本株
女性活躍
WIN

MSCI
日本株ESG
セレクトリーダーズ

Morningstar
日本株式
ジェンダー
ダイバーシティ
ティルト指数

読売
333

TOPIX
500

JPX
日経400

日経
連続増配
株指数

FTSE
All World

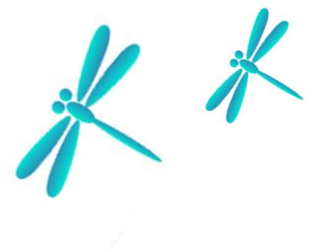
SOMPO
サステナビリティ
インデックス











Russell
Nomura
Prime

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント

iSTOXX
MUTB
Japan
積極投資企業
200


< 2-1 >
2027年 3月期
業績見通し



セグメント	26/3期 【結果】	27/3期 (年間) 【予想】
プラント向け 工事・販売		
工業製品		
高機能製品 (半導体関連製品)		
自動車部品		
建材		

◇ 27/3期 業績予想

(単位：億円)

	25/3期	26/3期	27/3期			増減率
	実績	実績	上期 予想	下期 予想	通期 予想	前期比
売上高	2,565	2,519	1,300	1,400	2,700	7.2%
営業利益	397 15.5%	370 14.7%	205 15.8%	245 17.5%	450 16.7%	21.6%
経常利益	417 16.3%	394 15.6%	205 15.8%	245 17.5%	450 16.7%	14.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	321 12.5%	316 12.6%	145 11.2%	175 12.5%	320 11.9%	1.2%

不透明感, 不確実性はあるものの
半導体市況の回復を追い風に
過去最高業績を予想

(新基幹システム構築費用25億円を含んだ利益計画)

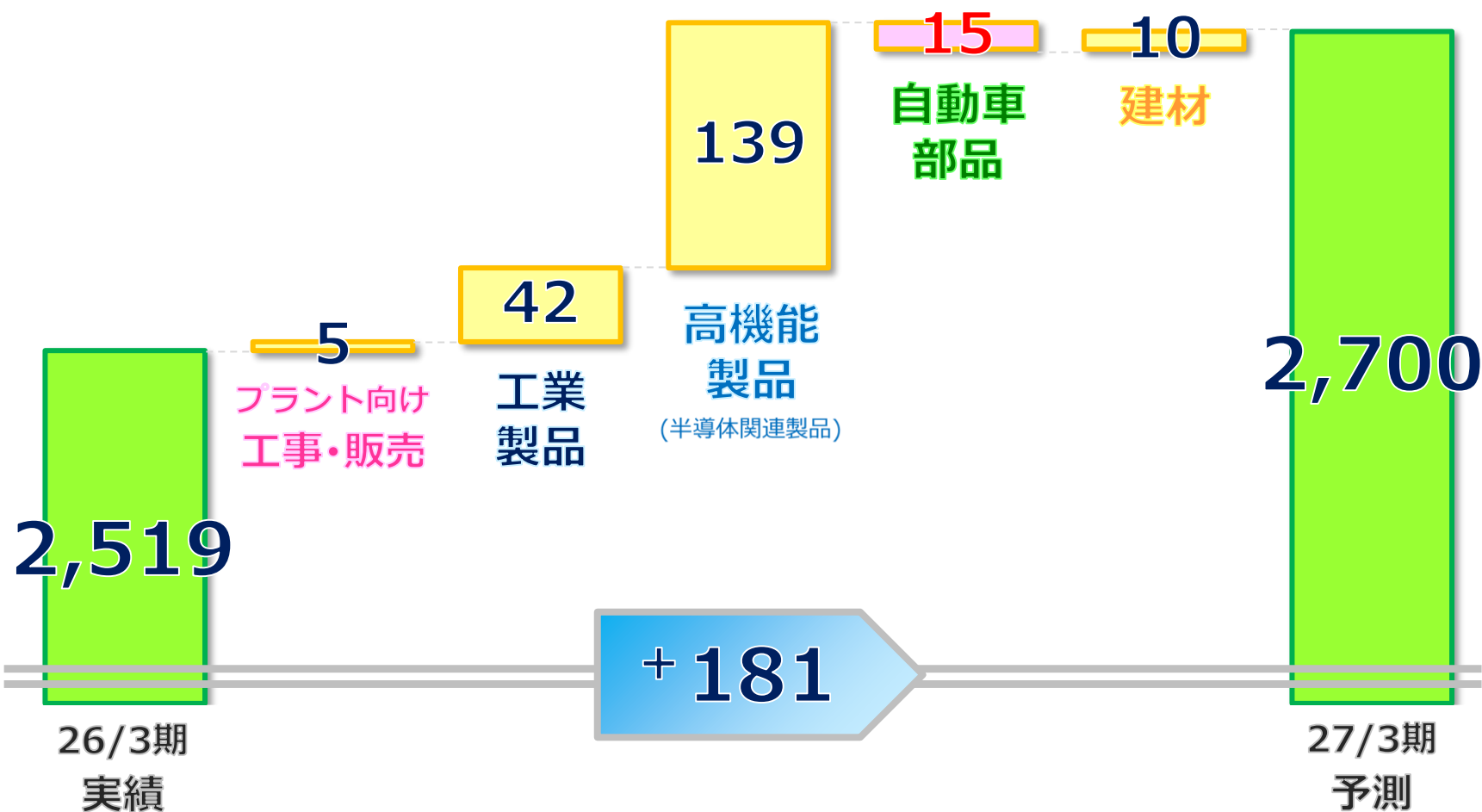
◇ セグメント別 業績推移

(単位：億円)

セグメント		23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 予想	増減率 前期比
プラント向け 工事・販売	売上高	652	735	785	795	800	0.6%
	営業利益	84 12.9%	106 14.4%	125 15.9%	120 15.1%	120 15.0%	0.1%
工業製品	売上高	516	512	532	533	575	7.8%
	営業利益	90 17.4%	105 20.5%	111 20.8%	101 19.0%	120 20.9%	18.6%
高機能製品 (半導体関連製品)	売上高	452	428	446	391	530	35.6%
	営業利益	110 24.3%	96 22.5%	102 22.9%	69 17.7%	130 24.5%	88.2%
自動車部品	売上高	468	501	512	515	500	▲2.9%
	営業利益	25 5.3%	38 7.5%	45 8.9%	53 10.3%	50 10.0%	▲5.9%
建材	売上高	294	317	291	285	295	3.6%
	営業利益	▲9 ▲3.0%	7 2.3%	14 4.8%	27 9.5%	30 10.2%	11.4%
計	売上高	2,381	2,494	2,565	2,519	2,700	7.2%
	営業利益	300 12.6%	352 14.1%	397 15.5%	370 14.7%	450 16.7%	21.6%

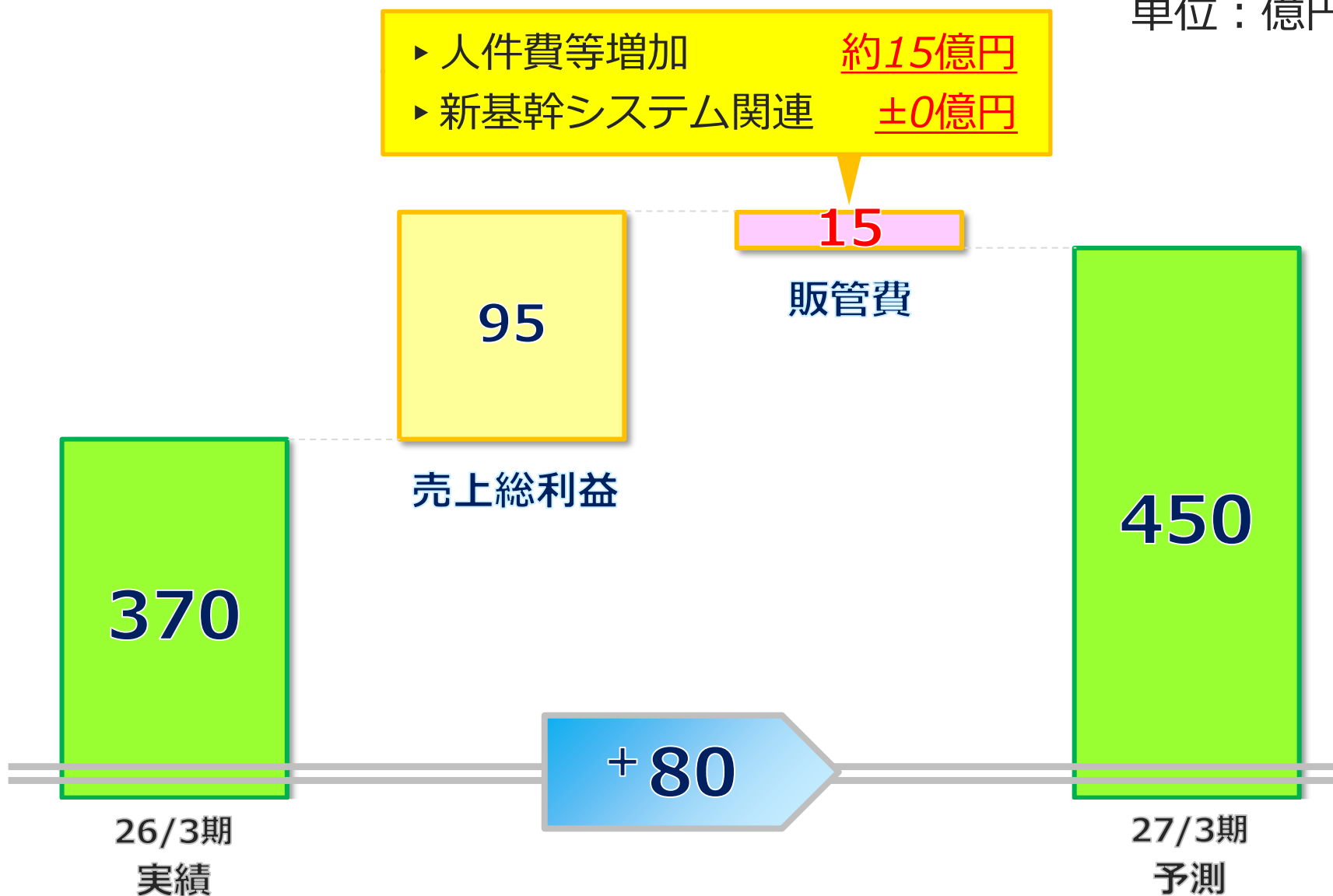
◇ 27/3期 売上高 増減要因

単位：億円

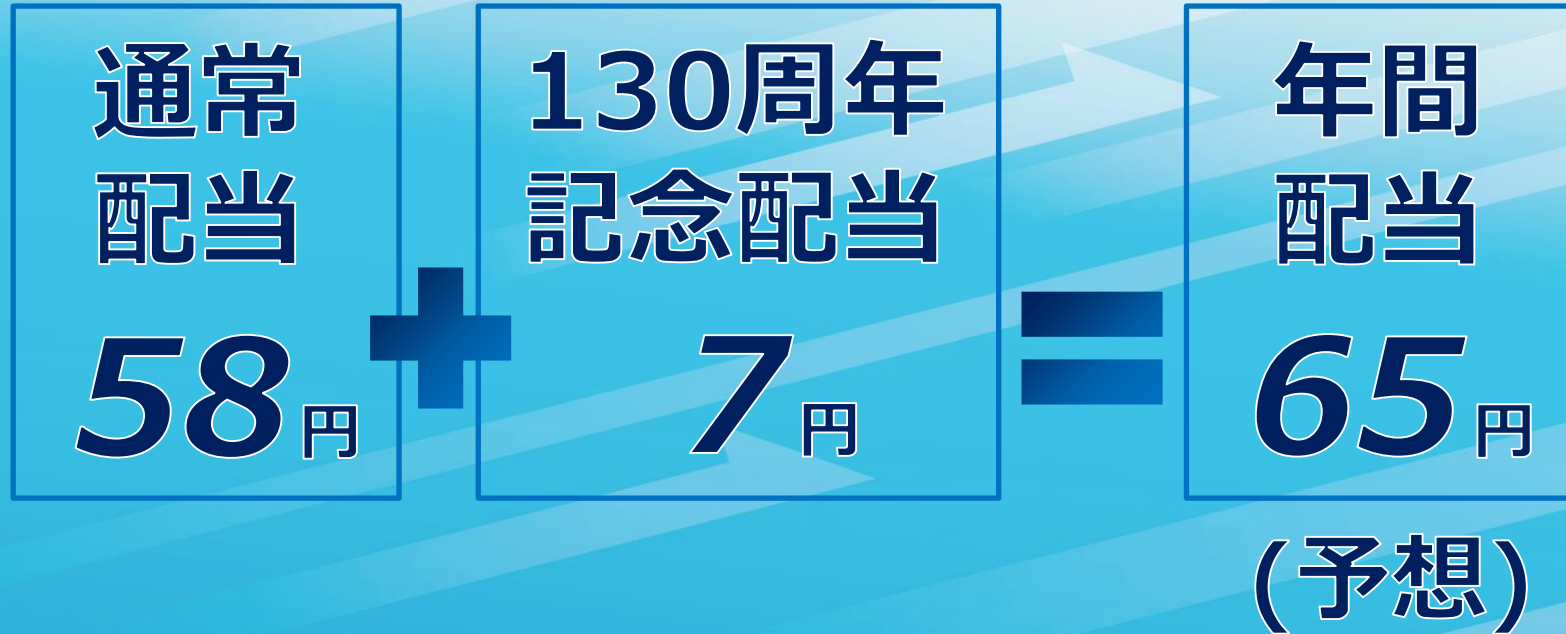


◇ 27/3期 営業利益 増減要因

単位：億円



2027/3期

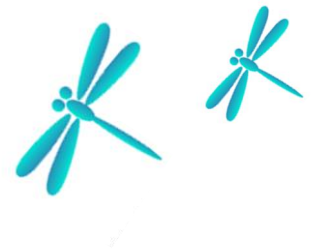


(2026/3期の年間配当金は1株あたり54.7円・・・分割を勘案した金額)

※ 上記のほか自己株式取得(上限50億円)も実施

< 2-2 >

し く み
13  中期経営計画について
(2023年3月期～2027年3月期)



おかげさまで 創業130周年を迎えました



長きに渡り、
ご支援・お力添え頂きました皆様に

心より御礼申し上げます

働きやすい明るい会社 の実現



従業員が活躍できる職場環境が実現できてこそ、業績向上とサステイナブルな未来が望める

企業理念 【ニチアス理念】





私たちは「断つ・保つ」の技術で地球の明るい未来に貢献します

スローガン

「断つ・保つ」で明るい未来へ

New

私たちの約束 【思考/行動】

-  仲間とともに、社会に役立つ価値を提供します
-  社会の一員であることを自覚し、責任ある行動を取ります
-  「ありがとう」と「笑顔」があふれる信頼の輪を築きます
-  スキルや知識を高め、従業員と会社がともに成長します

New

サステナビリティ 方針

ニチアスグループは企業理念の実践を通してグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します

働きやすい明るい会社

ニチアス「幸せ」価値指数 (NGI)

【25/3期】75.9点 ▶ 【27/3期】目標 80点以上

【年輪経営】 持続的成長



※NGI：ニチアス版「KGI」

※NPI：ニチアス版「KPI」

11年目を迎えるNKKは
次のステージへ

N **K** **K**

従来のK = 改善に加え
新たにK = 開発と開拓をテーマ化
(新たなカテゴリーを設ける予定)

NKKはニチアスグループの固有文化へ

新基幹システム構築プロジェクト

2026年10月より運用開始に向けて

- ▶ 経営の意思決定プロセス迅速化
- ▶ 業務の標準化・集約化・リスクマネジメント対応

通称) NXプロジェクト

次世代ショールーム

2026年4月オープンに向けプロジェクト進行中
(ニチアス本社5Fフロアをリニューアル予定)

企画コンセプト… 技術を見せる = 魅せる

中央研究所構想

鶴見・浜松 両研究所の統合検討
(R&D体制の強化 = 質とスピードの向上をはかる)

2025年度 (第11回) NKK世界大会



(2025/12/12開催)



「開拓」と「開発」の
新カテゴリーを加え、次の10年に向けて始動

未来志向のもと多様な切り口で未来を拓く

新基幹システム構築 プロジェクト

本稼働時期の延伸

【当初】 2026年10月～ ▶ 【変更】 2027年5月～

本稼働後の安定運用に向けて

業務シナリオテストと検証強化が必要と判断

… 実使用者のトレーニング期間を十分に確保したい

※ 延伸に伴う今期の構築費用は 25億円/年 (26/3期と同水準)

NICHIAS DISCOVERY GATE



コンセプト

ニチアスの技術を魅せる ⇒ 新たな「気づき(事業のタネ)」を発見

候補地 選定中

将来に向けた研究開発構想を熟考中
今後、建築コンサルを活用しながら構想具現化へ

ニチアスの技術の中核となる研究開発拠点として
「集約」「集人」をはかり、新製品 新技術を創出して行く

▶ 質とスピードの向上, 優秀な人材確保に努める

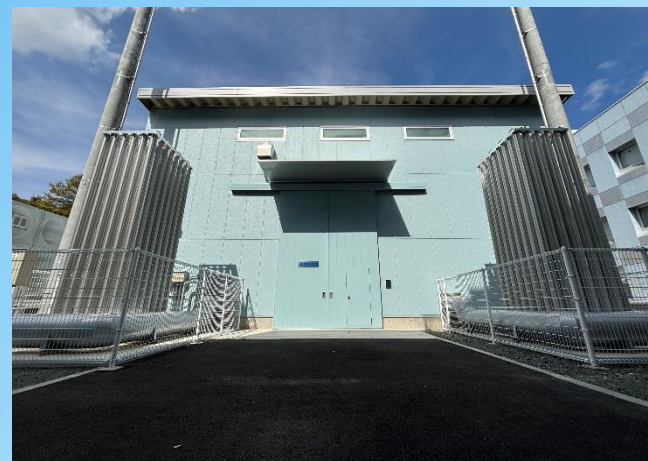
< 鶴見工場 物流棟 >

2026年3月竣工



＜ 浜松研究所 液化水素実験棟 ＞

2026年3月竣工



フュージョンエネルギー（核融合）

ヘリカル方式の核融合発電所の開発を進める
Helical Fusion 社の「ヘリックス計画」への参画


(2026/4/28プレスリリース)




政府が掲げる
重点投資対象17分野のうちのひとつ

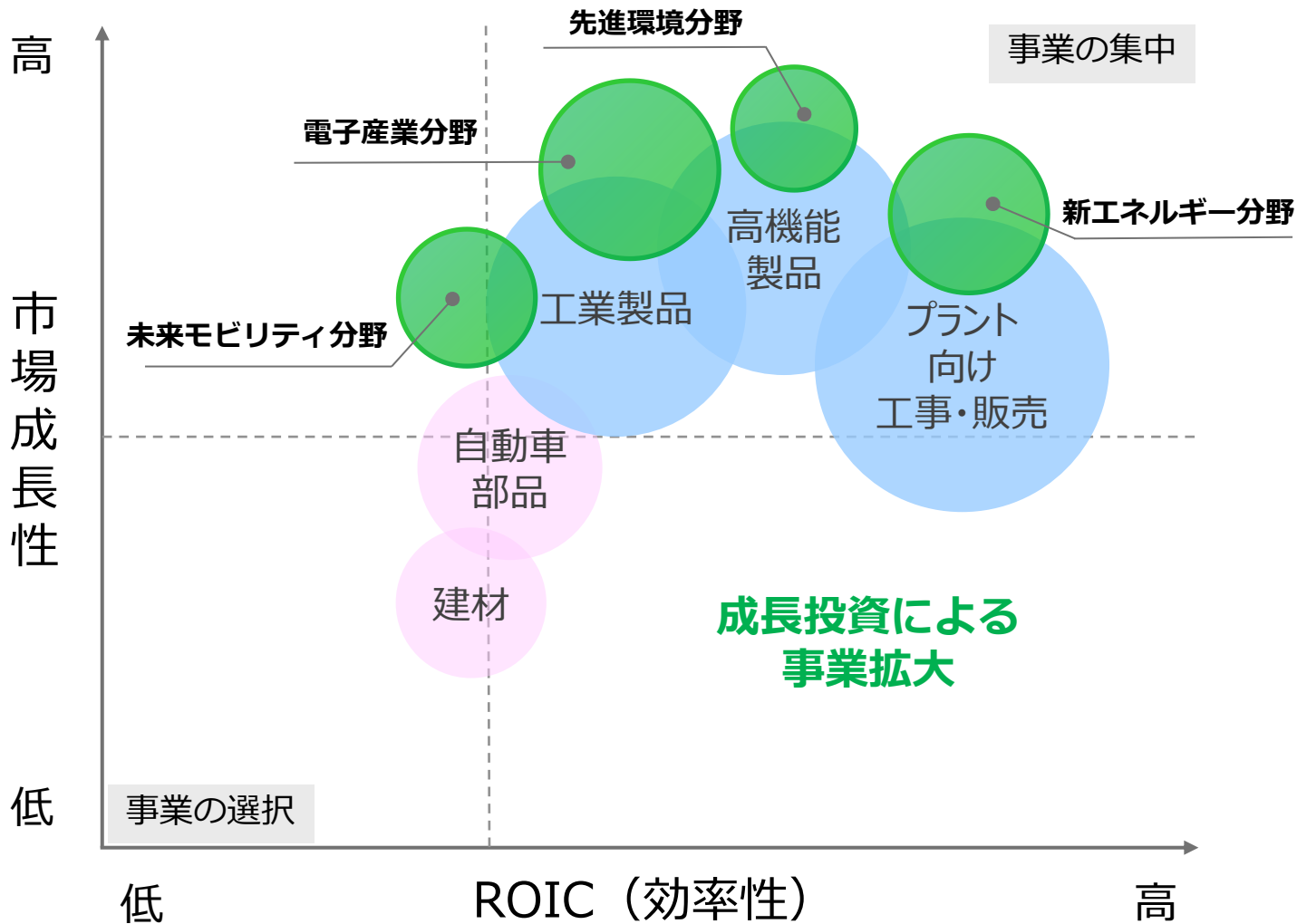
当社の「断つ・保つ」技術で
核融合の社会実装へ貢献して行く

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 予想
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
売上高 (億円)	2,381	2,494	2,565	2,519	2,700
海外売上高 (億円)	451	468	530	518	570
営業利益率 (%)	12.6%	14.1%	15.5%	14.7%	16.7%
設備投資額 (億円)	101	111	68	110	130

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 目標
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
ROE 自己資本利益率 (%)	13.1%	14.5%	15.5%	13.9%	15.0% 以上
ROIC 投下資本利益率 (%)	11.3%	11.6%	12.2%	10.7%	14.0%
EBITDA 金利・税金・償却前利益 (億円)	374	428	474	443	550

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 目標
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
手元流動性 (月数)	3.0カ月	2.7カ月	2.7カ月	2.7カ月	1.5 ~ 2.0カ月
自己資本比率 (%)	64.6%	68.7%	74.5%	77.7%	[2ndステージ] 現状水準より 高めない
政策保有株式 純資産比率 (%)	10.1%	11.1%	6.4%	7.5%	[2ndステージ] 適宜縮減

※円の大きさは売上高規模



- コア事業
- 戦略事業
- ノンコア事業



期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
売上高	468	501	512	515
営業利益 (%)	25 5.3%	38 7.5%	45 8.9%	53 10.3%

(金額：億円)

事業最適化活動の進展

- ▶ 生産/販売拠点の集約と効率化を推進中
伸びる市場・顧客へのメリハリ感のある資源配分

**【26/3期 営業利益率】
10%台へ改善**



期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
売上高	294	317	291	285
営業利益 (%)	▲9 ▲3.0%	7 2.3%	14 4.8%	27 9.5%

(金額：億円)

事業構造改革の進展

- ▶ 不採算製品の撤退・縮小・集約を推進
また、在庫や物流改善による成果も見えつつある

**【27/3期 営業利益率】
10%台は射程圏内へ**

◇ セグメント別ROIC

セグメント	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 イメージ	課題
プラント向け 工事・販売	25.1%	27.0%	26.4%	27%	売上債権回転期間の短縮
工業製品	15.7%	14.7%	12.8%	18%	売上債権回転期間の短縮 棚卸資産の圧縮
高機能製品 (半導体関連製品)	24.6%	22.7%	13.7%	25%	営業利益率の更なる向上 棚卸資産回転期間の短縮
自動車部品	8.6%	10.2%	11.6%	12%	原価低減 棚卸資産の最適化
建材	3.0%	5.8%	11.7%	12%	販管費, 物流費の削減 棚卸資産回転期間の短縮

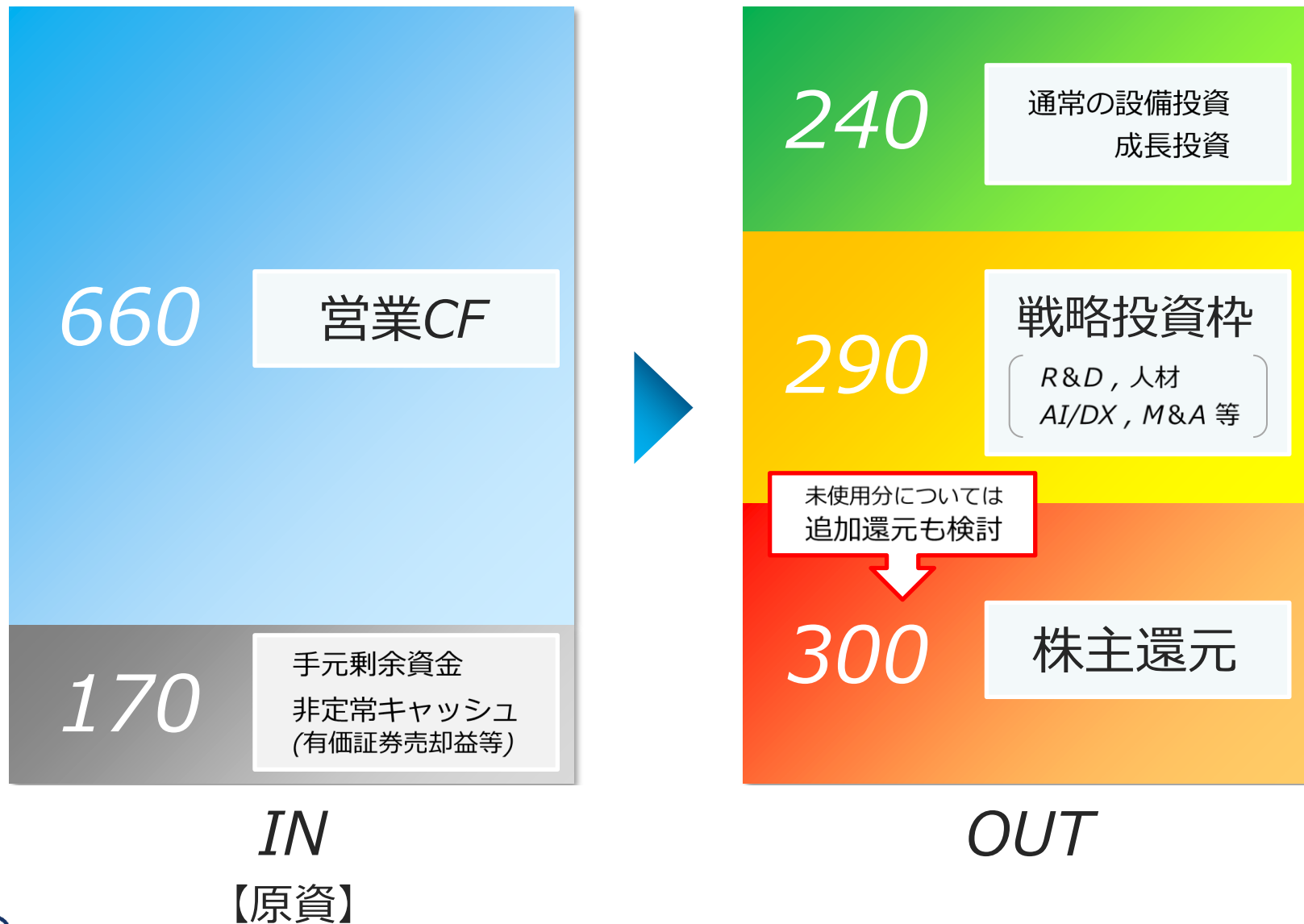
26/3期
結果

5 事業の合計は15.0% (新基幹システム構築費用を除くと15.9%)

◇ キャピタル・アロケーション

(2ndステージ累計：26/3期～27/3期の2カ年)

【金額】億円

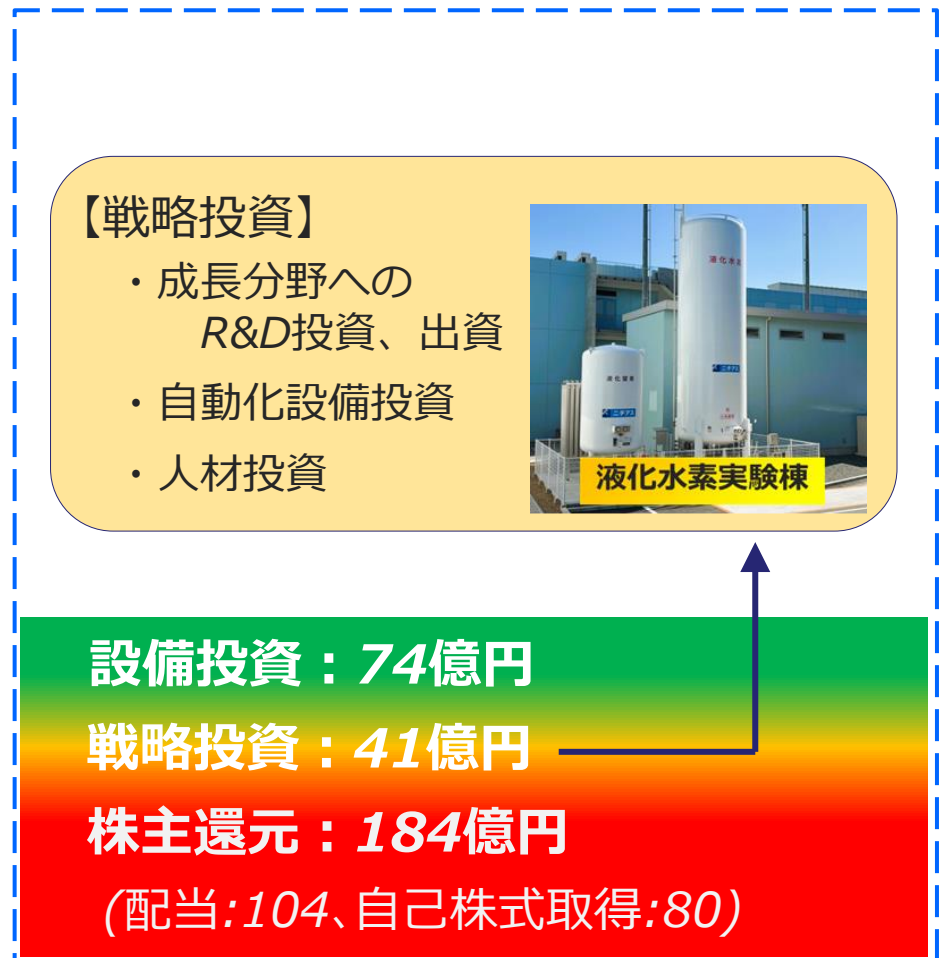


(2ndステージ累計：26/3期～27/3期の2カ年)

【金額】億円



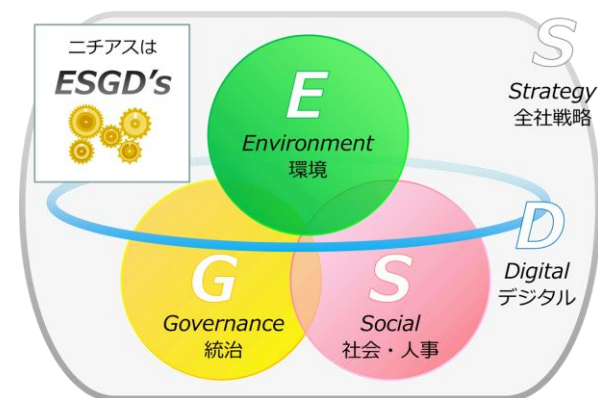
2カ年計画



26/3期までの進捗

■ サステナビリティ方針

ニチアスグループは企業理念の実践を通してグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します



サステナビリティ推進委員会



当社グループが対面するさまざまな課題を設定し、施策を進めています

環境配慮企業としてのニチアスグループの取り組み

気候変動への対応



資源循環の取り組み



自然との共生



化学物質管理の強化



< 26/3期 GHG排出量 >

▶ **16.9万t** 【t-CO₂eq】

25/3期 18.0万t

< 26/3期 再エネ導入率 >

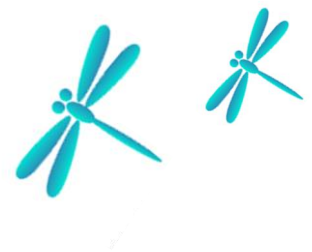
▶ **18%**

25/3期 13% **2030年目標** 25%

「ニチアス ふくしまトンボの里」
環境省「自然共生サイト」に認定



高機能製品



■ 事業環境



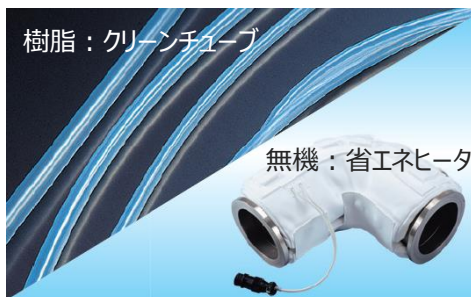
生成AIの拡大を背景に半導体需要は力強く成長。データセンターやAI処理向け半導体を中心に投資が活発化し、市場は拡大局面

成長戦略

- 先取の技術開発により差別化製品の創出
- 半導体市況を先読みした生産能力の増強
- 新たな用途・顧客の創出（深化と探索）

■ 注力テーマの状況

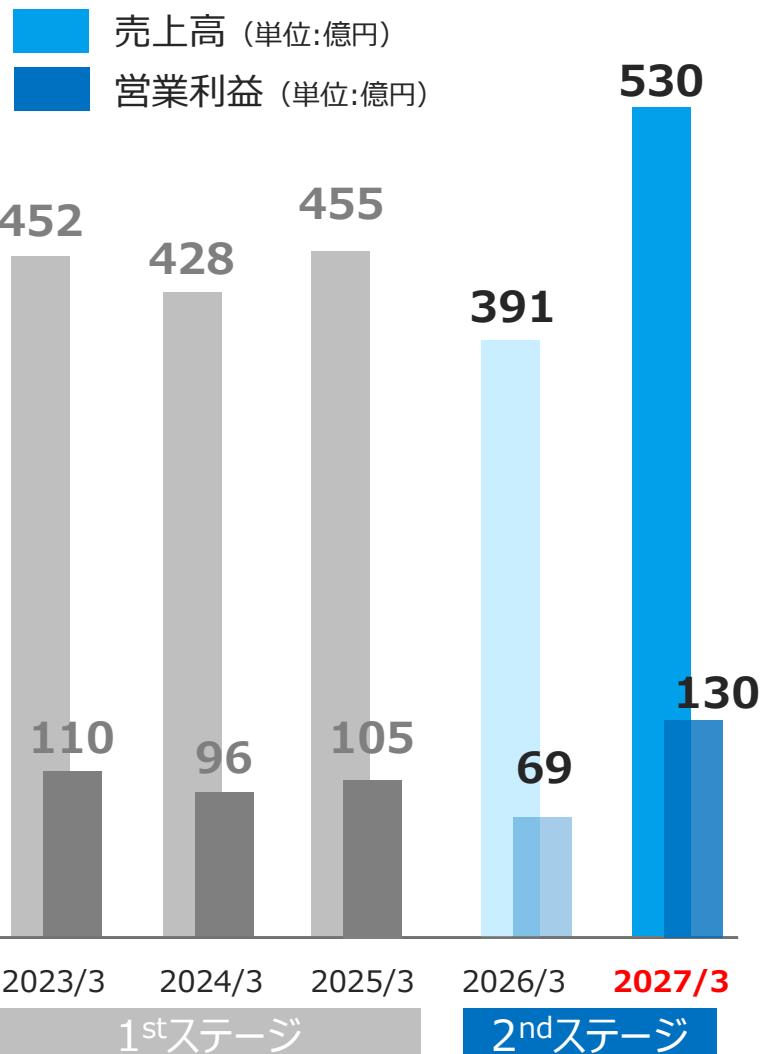
差別化製品開発



600億円体制構築



2ndステージにおける重要課題は計画通りに進捗



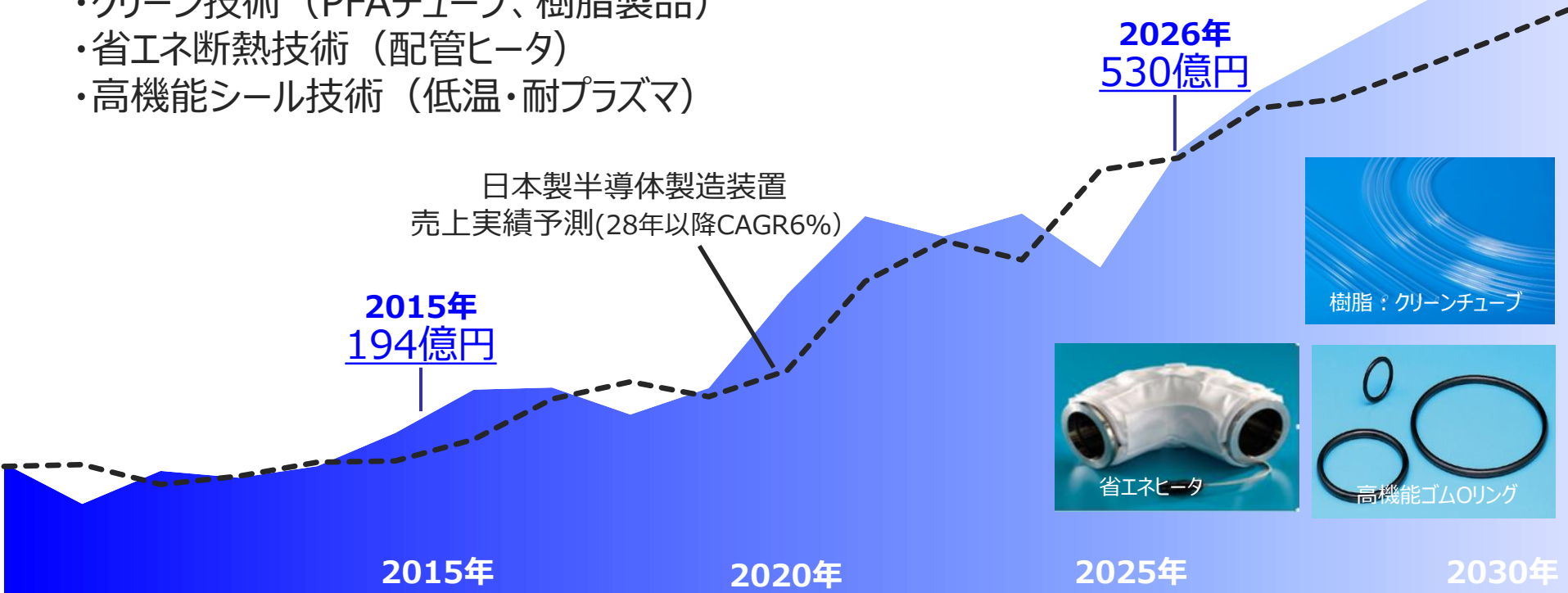
半導体製造装置産業は、中長期的に拡大成長

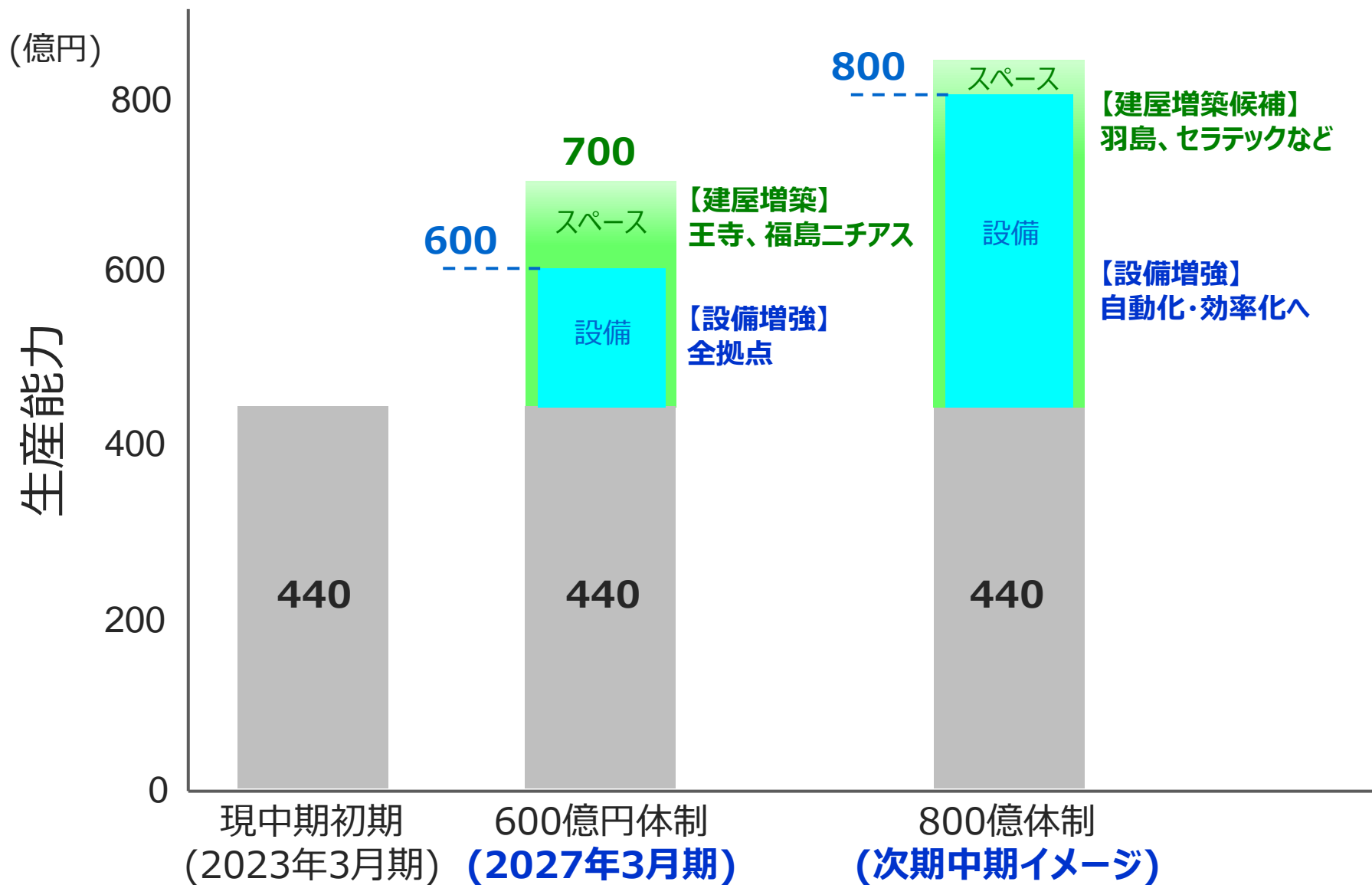
- ・AIの高度化を背景とした先端半導体需要の拡大
- ・データ容量増大と新興国市場の成長
- ・技術進展及び脱炭素化対応による装置需要の高度化
- ・サプライチェーン再編と各国政策支援による投資拡大



将来を見据えた技術開発による差別化製品の創出

- ・クリーン技術（PFAチューブ、樹脂製品）
- ・省エネ断熱技術（配管ヒータ）
- ・高機能シール技術（低温・耐プラズマ）

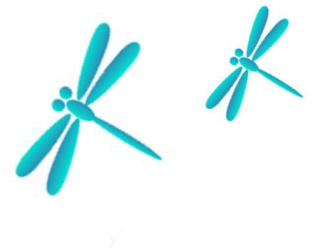




■ 生産能力増強：設備増強と生産性向上の両輪



工業製品



事業環境



エレクトロニクス
関連市況回復

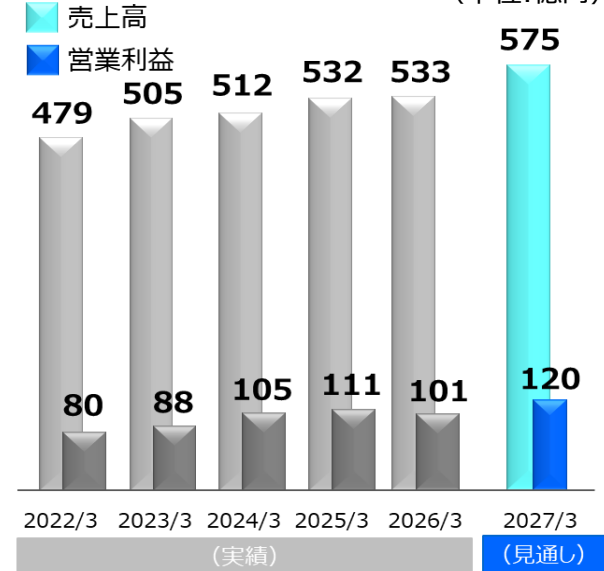
- 半導体材料・設備、二次電池：投資旺盛
- 電子部品製造：AIサーバー向け投資旺盛
- 発電機器、防衛関連機器：活況
- 医療機器、食品機械：堅調
- ビル設備：再開発継続も人手不足、資材高騰

事業戦略

- 機会損失の最小化
- 有望成長市場・製品への積極投資（グローバル）
- 次世代事業の創出と促進
- 高付加価値製品の先行開発（環境・エレクトロニクス）

■ 27/3期の見通し

(単位:億円)



■ 設備投資



TTM
(台湾)
新工場



ナフロンPFA-HGチューブ
製造設備の導入
(進行中)

■ 事業創出（注力テーマ）

環境関連

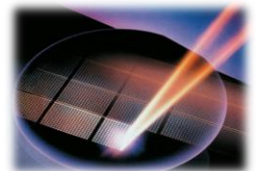
- ◆ 核融合発電／(株)Helical Fusionとのパートナーシップ
- ◆ 水電解装置／セル間シール材の開発
- ◆ GHG回収、濃縮／調査中（フィルター製品）



※(株)Helical Fusion HPより

エレクトロニクス分野

- ◆ 高速通信基板／FCLEX（低誘電性基板材料）の開発
- ◆ 高純度薬液／耐透過・液切れ性に優れる配管材の開発



「Helix Program^{*1}」へ公式パートナーとして参画

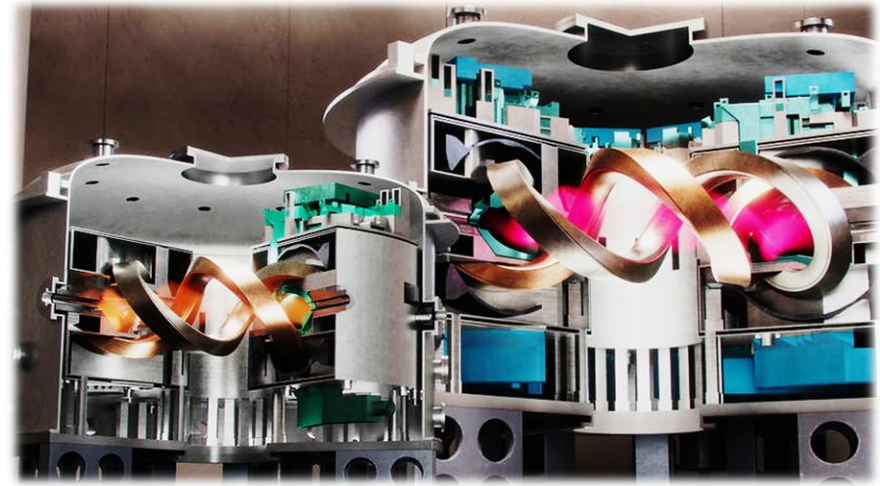
*1：株式会社Helical Fusionが推進する核融合発電の社会実装計画

※(株)Helical Fusion HPより

■ 核融合発電との技術的親和性

核融合は1億度のプラズマを発生させ、その熱を利用して発電する

発電レベルのプラズマの維持には高レベルの真空と強力な磁場が必要



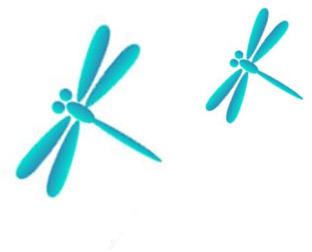
統合実証装置
「Helix HARUKA」

発電初号機
「Helix KANATA」

核融合炉には超高温、極低温、超高真空という特殊な条件があり、ニチアスの技術との親和性が高い

実証炉計画への早期参画により、『断つ、保つ』の技術で社会課題に貢献します

プラント向け工事・販売



【2ndステージ本部重要課題】

- ①カーボンニュートラル案件の取り込み・仕込み
- ②製品部門における成長市場の取り込み
- ③既存メンテ市場(石化・原子力)の深堀
- ④安全・品証・コンプライアンス・組織・体制の整備

27/3期環境動向(石油化学部門)



需要継続

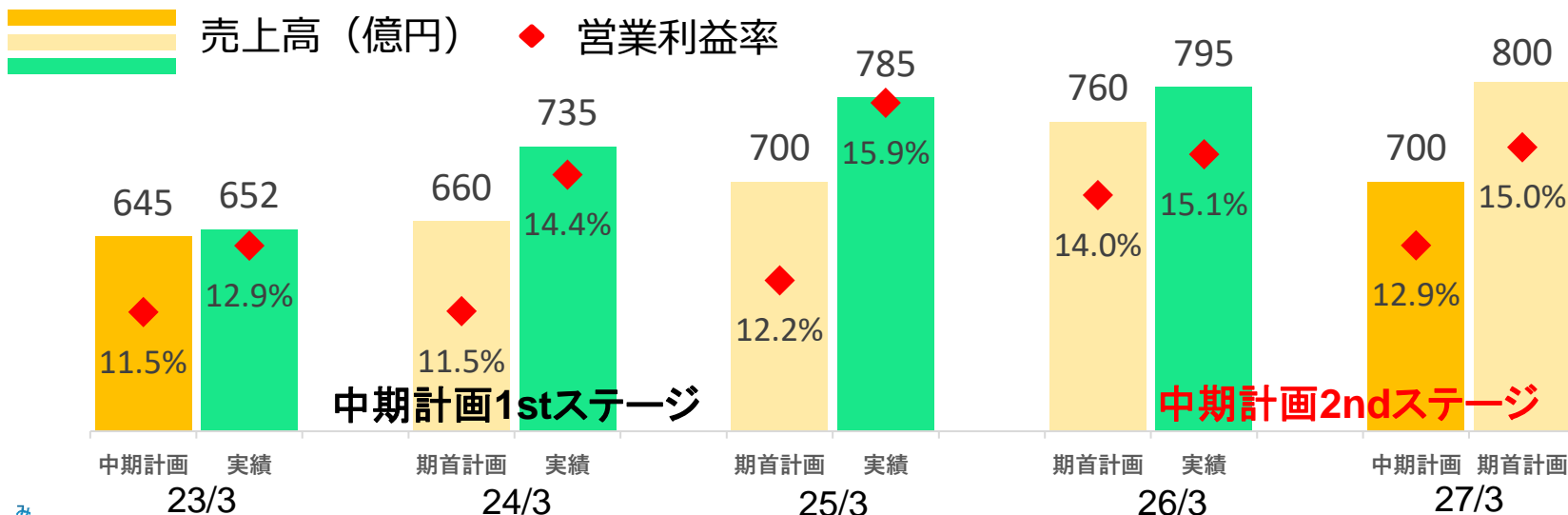
● CN関連工事の計画見直し
⇒設備統合影響あるものの老朽化設備延命のため、検査付帯工事の増加継続

27/3期環境動向(原子力部門)

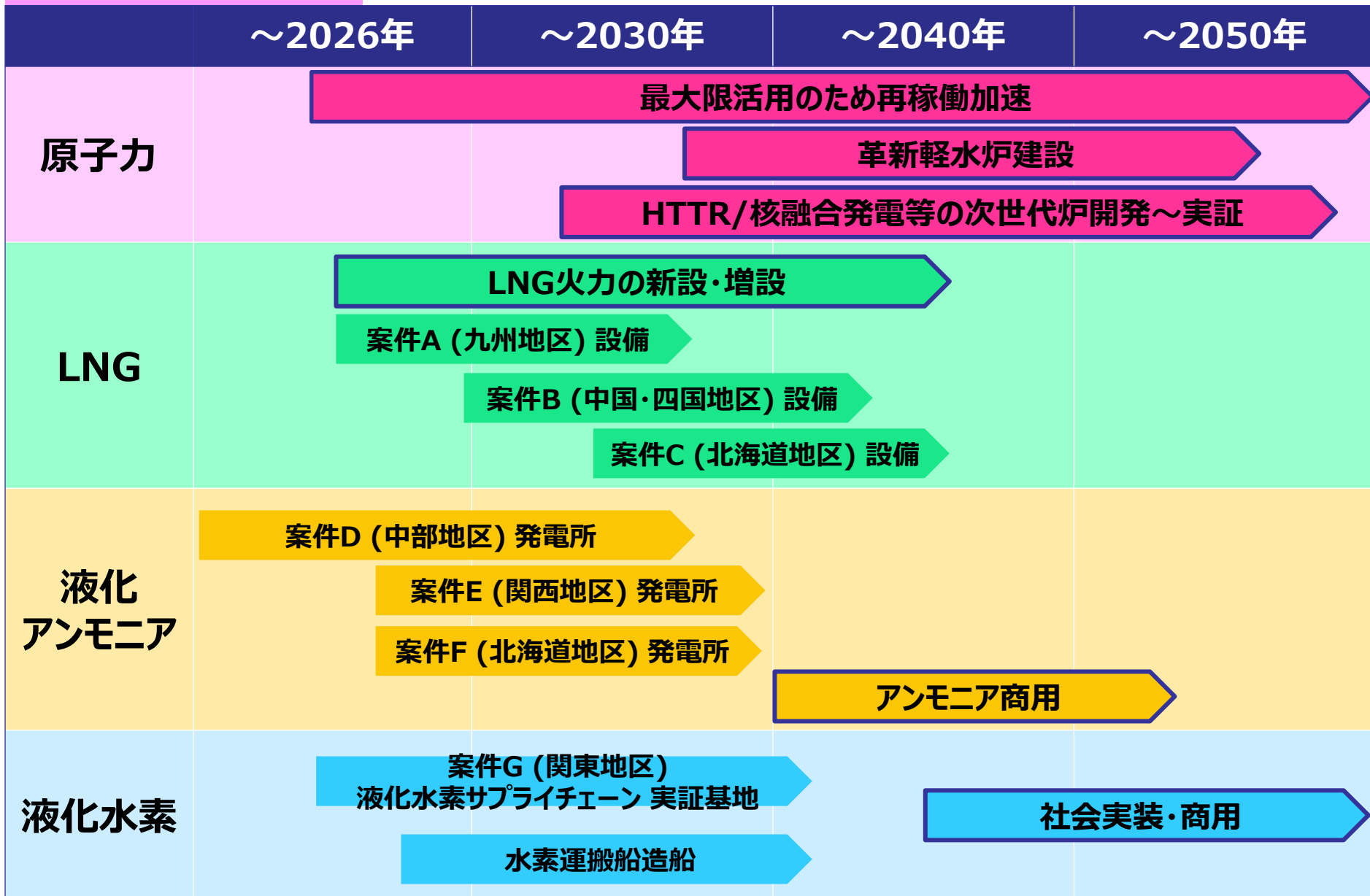


需要回復

● エネルギー需要の高まり
⇒原子力発電所再稼働および再処理工場竣工にむけ工事量増加
※ 関西地区/一部サイトの再稼働状況注視



CN市場の環境動向



原子力分野

● 原子力発電所再稼働にむけた安全対策工事増加

☞ 直近では、北海道、関東、中国地区での工事が加速見込み

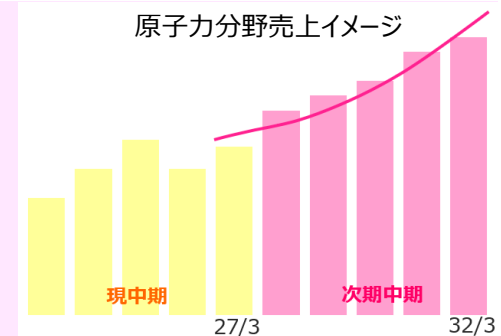
● 核燃料サイクル確立にむけた再処理工場竣工

- ・火災防護工事
- ・金属保温材交換工事
- ・貫通部処理工事
- ・上記施工に伴う調査や足場工事など

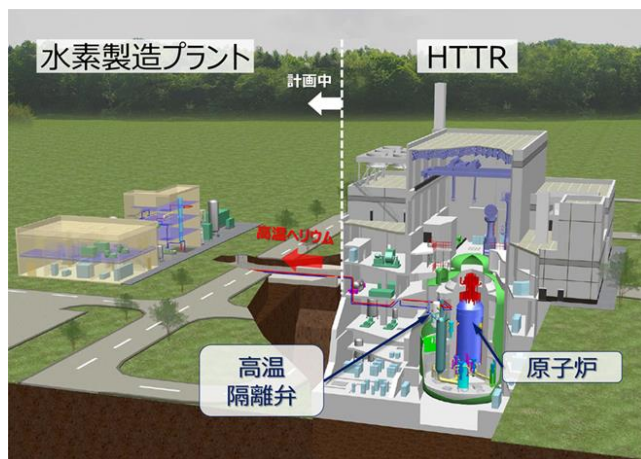


【27/3期注力課題】

生産体制整備・人員体制整備
をおこないピーク対応へ



次世代革新炉実証試験へ参画



◆ 高温ガス炉(HTR)向け断熱構造の構築へ
設計協力、工法開発

◆ フュージョンエネルギー(核融合)市場への参入

LNGおよび新エネルギー分野

● 水素社会にむけてアンモニア混焼設備や液化水素サプライチェーン実証プラントの建設計画は進行中だが、社会実装までの代替エネルギーとしてLNG発電が注目される

☞ 液体水素設備への断熱材、シール材、工法のスペックインをめざし開発を継続しながら、LNG市場でも同技術を差別化技術として応用することを検討

アンモニア



- ◆ 案件D(中部地区)アンモニアタンクの施工技術・実績を次のアンモニア案件へ展開
- ◆ 底部パーライトコンクリートの開発

液体水素



- ◆ 浜松研究所に建設された設備を使用し配管保冷工法およびタンク保冷工法の開発、LNGタンク施工へ展開
- ◆ LH2機器用シール材のスペックインをめざし、バルブ・ポンプメーカーとの情報交換、クライオ市場調査実施

働きやすい明るい会社

しくみ



「断つ・保つ」で
明るい未来へ

私たちの約束

- 仲間とともに、
社会に役立つ価値を提供します
- 社会の一員であることを自覚し、
責任ある行動を取ります
- 「ありがとう」と「笑顔」があふれる
信頼の輪を築きます
- スキルや知識を高め、
従業員と会社がともに成長します

 ニチアス

©2026 NICHIAS CORPORATION
NICHIAS GROUP

「断つ・保つ」で
明るい未来へ

ニチアス理念

私たちは
「断つ・保つ」の技術で
地球の明るい未来に
貢献します

 ニチアス

「断つ・保つ」で
明るい未来へ

サステナビリティ方針

ニチアスグループは
企業理念の実践を通して
グループの持続的な成長と
持続可能な社会の実現を
目指します

 ニチアス